

東日本大震災 7年

記憶、風化させぬ

東日本大震災から7年を前にした10日、丹波地域でも被災者による講演や支援活動を紹介した写真展などが行われ、参加した市民らは当時の記憶を新たにしていた。

丹波



災害へ心構え大切

宮城・南三陸語り部男性が講演

園部高

南丹市園部町の園部高では、宮城県南三陸町で震災を経験し、語り部活動に取り組む伊藤俊さん(42)が「南三陸から未来へ贈る言葉」と題して講演。震災を経て、伊藤さん



被災地の画像を紹介しながら、災害への備えや命を自ら守る大切さを訴える伊藤さん(南丹市園部町・園部高)

陸ホテル観洋」が始めた活動「震災を風化させないための語り部パス」を通して、被災地を訪れる人に惨状や教訓を伝えている。

伊藤さんは当時の画像を紹介し、津波が早く押し寄せた際、ある施設が、避難場所の高台ではなく、屋上に高齢者を避難させて多くの命を救った事例に触れ、「想定外の事態が起こるのが災害。状況に依り、マニュアルにとられない判断が大切」と指摘した。

よいものを創る

冠婚葬祭一般
まつなみ
仕出料理専門店

急なご注文でもご安心

宮津市天橋立二本松
☎0772-46-2753
まつなみ 検索

宮城・白石絵馬支援伝え

京都愛宕研 亀岡で記録写真展

亀岡市余部町のガレリアかめおかでは、宮城県白石市の被災地支援に携わる京都愛宕研究会(同市南つじヶ丘)が、活動の記録写



被災地支援として関わる宮城県白石市との交流の記録写真を展示した会場(亀岡市余部町・ガレリアかめおか)

大切な人の命も守れない」と語り、日ごろか災害に向けた心構え

や備えを行う大切さを強調した。

(長尾康行)

会場には、会員が絵馬に金箔を貼る復元作業や、絵馬贈呈の様子のほか、震災で亡くなった人に思いを記すための「漂流ポスト」(岩手県陸前高田市)といった被災地視察の記録を展示する。鶴飼均会長(58)は「写真を通して、震災を語り継ぐきっかけになれば」と話す。18日まで。

11日は午後1時から、ガレリアかめおかで、震災当日を思い起こしてもらうためにミニコンサートと、映画「家族の軌跡」の上映会を開く。無料。

(北川裕益)

丹波総局
〒621-0805
亀岡市安町釜ヶ前
代表 0771(22)3515
FAX 0771(22)3517
tanba@mb.kyo-to-np.co.jp

南丹支局
〒622-0002
南丹市園部町美園町
代表 0771(62)0434
FAX 0771(62)2821
nantan@mb.kyo-to-np.co.jp

北桑通信部
0771(75)9035
(FAX専用)

丹波の先覚者・岩崎革也

労働者、農民に共感

南丹で研究会が講演会



丹波の地域に多大な貢献をしたとされる岩

主

岩崎革也 9月4日、10日、市国院前に、運動に尽くす

日、双葉町制作の15秒CMをC
ATV(ケーブルテレビ)で流